



認 定 書

国住参建第 3288 号
令和 6 年 3 月 18 日

株式会社チューオー
代表取締役 高曾 靖 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号の二及び同法施行令第 107 条の 2 第一号から第三号まで（外壁（耐力壁）：各 45 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QF045BE-1690(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物繊維断熱材充てん／イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、せっこうボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／強化せっこうボード裏張／木製枠組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

管理番号 NICHHA・F-



1. 構造名：

人造鉱物繊維断熱材充てん／イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、せっこうボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／強化せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項目	仕様
壁の高さ	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	149(-2.0)mm 以上
たて枠間隔	455mm 以下

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様
たて枠 (荷重支持部材)	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠 断面寸法：38×89mm 以上
上枠、下枠	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の上枠及び下枠材 断面寸法：38×89mm 以上

つづく

つづき

外装材	<p>材料：イソシアヌレートフォーム裏張鋼板 構成：①～③ ①表面材 材料：1)～19)の一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697) 2) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302) 3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312) 4) 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317) 5) 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318) 6) 溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) 7) 塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) 8) ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744、金属板のアルミニウムまたはアルミニウム合金板は除く) 9) 一般構造用圧延鋼板(JIS G 3101) 10) 冷間圧延鋼板(JIS G 3141) 11) 熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131) 12) 電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) 13) 建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板(国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0395) 14) 溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3323) 15) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 <p>母材：a)～k)の一</p> <ol style="list-style-type: none"> a) 塗装／亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697) b) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302) c) 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317) d) 溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) e) ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く) f) 一般構造用圧延鋼板(JIS G 3101) g) 冷間圧延鋼板(JIS G 3141) h) 熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131) i) 電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) j) 建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0395) k) 溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323) <ol style="list-style-type: none"> 16) 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) 17) 冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305) 18) 熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304) 19) 塗装ステンレス鋼板(JIS G 3320) <p>17)～19)の鋼種：フェライト系又はマルテンサイト系に限る</p>
-----	---

つづく

つづき

外装材	<p>塗装又は被覆の有機質量： 表面側；65(+7)g/m²以下 裏面側；26(+3)g/m²以下 塗装の材質：1)～9)の一、又は組合せ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ポリエステル系樹脂 2) フッ素系樹脂 3) アクリル系樹脂 4) ウレタン系樹脂 5) エポキシ系樹脂 6) ポリ塩化ビニル系樹脂 7) ポリエチレン樹脂 8) 無機系樹脂 9) シリコーン系樹脂 <p>厚さ：0.35(-0.05)mm 以上</p> <p>②芯材 材料：イソシアヌレートフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート(ポリメリック MDI) 61(±6) ポリエステル系ポリオール 27(±4) 難燃剤(りん酸エステル等) 5(±2) 添加剤(三量化触媒、整泡剤等) 7(±3) 発泡剤(HFO) 11(±3)(外割)</p> <p>厚さ：17.5(±2)mm 密度：36(±4)kg/m³ イソシアネート指数：367</p> <p>③裏面材 材料：1)又は2) 1) はり合せアルミニウムはく 厚さ：0.2(-0.1)mm以上 2) ①表面材と同じ 塗装又は被覆の有機質量：①表面材と同じ 塗装の材質：①表面材と同じ 厚さ：0.16(-0.04)mm以上 有機質量：88.7(+9)g/m²以下</p> <p>厚さ：18(-2)mm以上 幅：338(±10)mm 働き幅：300(±10)mm 張り方：縦張</p>
-----	--

つづく

つづき

構造用面材	仕様：(1)～(4)の一
(1)木質系 ボード	材料：①～③の一 ①構造用合板(日本農林規格に適合するもの(加工品を含む)、全層すぎを除く) 厚さ：12mm 以上 ②構造用パネル(日本農林規格に適合するもの(加工品を含む)) 厚さ：12mm 以上 ③パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ：12mm 以上
(2)セメン ト板	材料：①～④の一 ①硬質木毛セメント板(JIS A 5404) 厚さ：15mm 以上 ②硬質木片セメント板(JIS A 5404) 厚さ：12mm 以上 ③けい酸カルシウム板(JIS A 5430) 厚さ：12mm 以上 ④繊維混入けい酸カルシウム板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578) 厚さ：12mm 以上
(3)せっこ うボード	材料：①又は② ①せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm 以上 ②強化せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm 以上
(4)火山性 ガラス質複 層板	材料：火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：12mm 以上
内装材	仕様：強化せっこうボード単張 材料：強化せっこうボード(JIS A 6901) 種類：GB-F(V) 厚さ：15mm以上
充てん断熱材	材料：①又は② ①人造鉱物繊維保温材(JIS A 9504) ②建築用断熱材(JIS A 9521) 種類：1)又は2) 1)グラスウール 2)ロックウール 厚さ：89mm以上 密度：16kg/m ³ 以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
胴縁	<p>材料：①～⑥の一</p> <p>①日本農林規格に適合する構造用製材、造作用製材又は下地用製材(加工品を含む)</p> <p>②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材(加工品を含む)</p> <p>③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材(加工品を含む)</p> <p>④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材(加工品を含む)</p> <p>⑤平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材</p> <p>⑥日本農林規格に適合する構造用合板又は普通合板(加工品を含む)</p> <p>密度：0.29(±0.03)g/cm³以上</p> <p>寸法：一般部；15×45mm以上 縦継ぎ部；15×45mm以上 2列配置 又は15×90mm以上</p> <p>取付間隔：500mm 以下</p>
受け材	<p>材料：たて枠と同じ</p> <p>寸法：38×89mm 以上</p>
防水紙	<p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：①及び②</p> <p>①透湿防水シート(JIS A 6111)</p> <p>材質：1)～3)の一、又は組合せ(積層したもの)</p> <p>1)ポリエチレン</p> <p>2)ポリエステル</p> <p>3)ポリプロピレン</p> <p>単位面積質量：160(+16)g/m²以下</p> <p>②アルミニウム層</p> <p>仕様：あり又はなし</p>
防湿シート	<p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：①～③の一</p> <p>①住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930)</p> <p>②包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702)</p> <p>③農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781)</p> <p>単位面積質量：190(+20)g/m²以下</p>
シーリング材	<p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：建築用シーリング材(JIS A 5758)</p> <p>使用量：0.1g/m 以上</p> <p>使用箇所：外装材縦継ぎ部</p>
内装材目地処理材	<p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：①又は①及び②</p> <p>①せっこうボード用目地処理材(ジョイントコンパウンド、JIS A 6914)</p> <p>②ジョイントテープ</p> <p>材質：1)又は2)</p> <p>1)ガラス繊維</p> <p>2)紙</p>

つづく

つづき

気密材	<p>仕様：あり又はなし</p> <p>材質：1)～7)の一、又は組合せ</p> <p>1)ポリサルファイド系</p> <p>2)変成シリコーン系</p> <p>3)エチレン・酢酸ビニル系</p> <p>4)EPDM 系</p> <p>5)塩化ビニル系</p> <p>6)熱可塑性エラストマー系</p> <p>7)合成ゴム系</p> <p>質量：0.1g/m以上</p>
接着剤	<p>仕様：あり又はなし</p> <p>材質：ホットメルト系</p> <p>質量：4.2(+0.4)g/m 以下</p>
留付材	<p>外装材固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>②ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 2.11 \times$ 長さ38mm以上</p> <p>留付間隔：鉛直方向500mm以下、水平方向300mm以下</p>
	<p>役物固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>②ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 2.11 \times$ 長さ38mm以上</p> <p>留付間隔：1000mm以下</p>
	<p>胴縁固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>②ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 2.41 \times$ 長さ45mm以上</p> <p>留付間隔：鉛直方向500mm以下、水平方向455mm以下</p>
	<p>構造用面材固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>②ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 1.83 \times$ 長さ32mm以上</p> <p>留付間隔：周辺部 150mm 以下、中間部 200mm 以下</p>

つづく

つづき

留付材	<p>受け材固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>②ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 2.41 \times$ 長さ 45mm 以上</p> <p>留付間隔：水平方向両端部</p>
	<p>内装材固定用：</p> <p>材料：ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：呼び径 $\phi 3.8 \times$ 長さ 32mm 以上</p> <p>留付間隔：周辺部 150mm 以下、中間部 200mm 以下</p>
	<p>防水紙固定用(防水紙を使用する場合)：</p> <p>材料：①～③の一、又は組合せ</p> <p>①ステーブル</p> <p>②粘着テープ</p> <p>材質：1)～7)の一、又は組合せ</p> <p>1) ブチル系</p> <p>2) アクリル系</p> <p>3) ポリエチレン系</p> <p>4) ポリエステル系</p> <p>5) ポリプロピレン系</p> <p>6) アスファルト系</p> <p>7) 合成ゴム系</p> <p>幅：200(+20)mm以下</p> <p>質量：280(+30)g/m以下</p> <p>使用箇所：防水紙の水平方向両端部</p> <p>③スプレーのり</p> <p>材質：合成ゴム系</p> <p>塗布量：180(+20)g/m²以下</p>
	<p>防湿シート固定用(防湿シートを用いる場合)：</p> <p>材料：①～③の一、又は組合せ</p> <p>①ステーブル</p> <p>②粘着テープ</p> <p>材質：1)～7)の一、又は組合せ</p> <p>1) ブチル系</p> <p>2) アクリル系</p> <p>3) ポリエチレン系</p> <p>4) ポリエステル系</p> <p>5) ポリプロピレン系</p> <p>6) アスファルト系</p> <p>7) 合成ゴム系</p> <p>幅：200(+20)mm以下</p> <p>質量：280(+30)g/m以下</p> <p>使用箇所：防湿シートの水平方向両端部</p> <p>③スプレーのり</p> <p>材質：合成ゴム系</p> <p>塗布量：180(+20)g/m²以下</p>

つづく

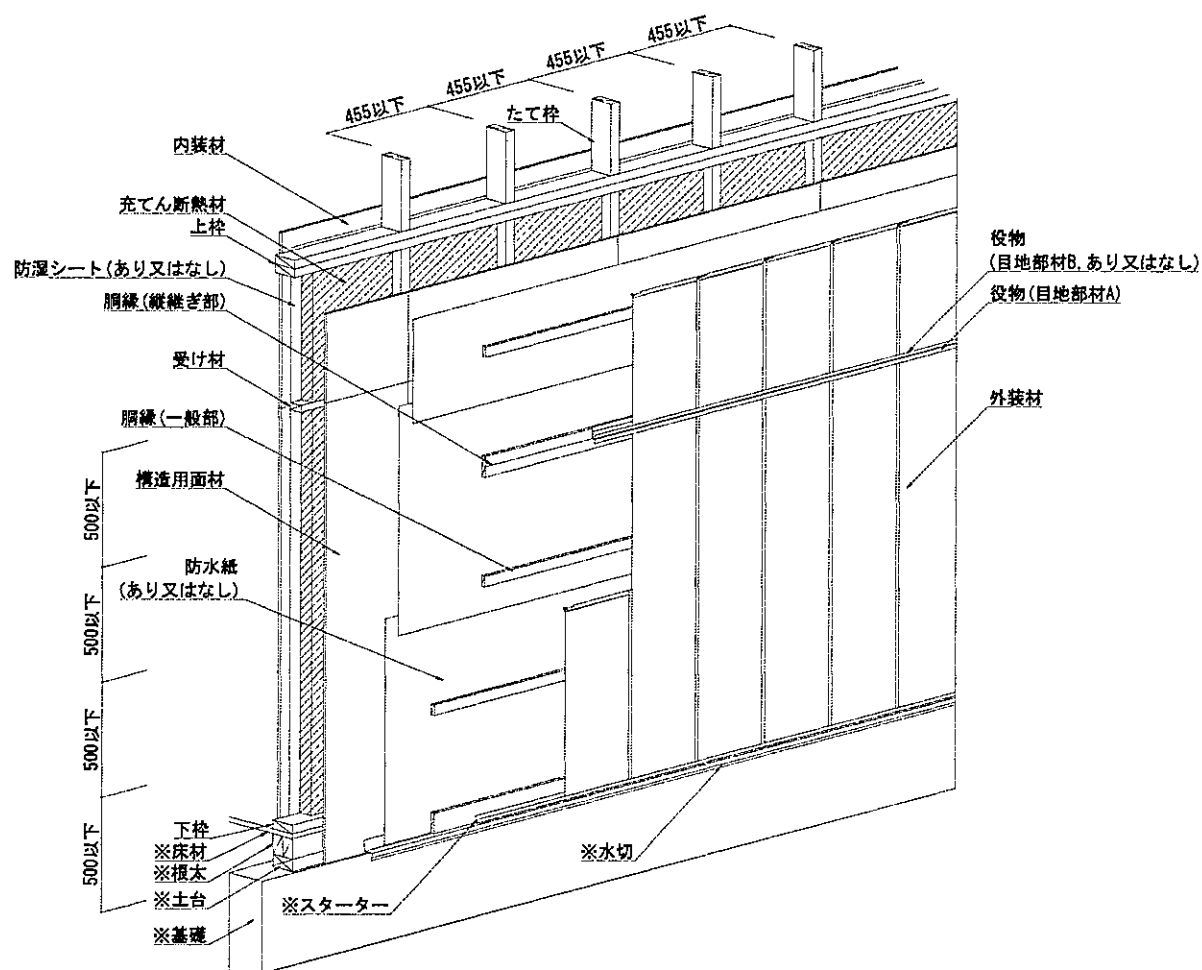
つづき

留付材	<p>充てん断熱材固定用：</p> <p>材料：ステープル</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：肩幅10mm以上×足長さ6mm以上</p> <p>留付間隔：鉛直方向250mm以下</p>
役物	<p>仕様：①又は、①及び②</p> <p>①目地部材 A</p> <p>形状：立ち上がり 40(-4)mm 以上</p> <p>出幅 20(-2)mm 以上</p> <p>垂れ下がり 20(-2)mm 以上</p> <p>厚さ：0.35(-0.05)mm 以上</p> <p>②目地部材 B</p> <p>仕様：1)又は 2)</p> <p>1)1 ピースタイプ</p> <p>2)2 ピースタイプ</p> <p>形状：表面側立ち上がり 25(-2.5)mm 以上</p> <p>裏面側立ち上がり 44(-4.4)mm 以上</p> <p>厚さ：0.27(-0.05)mm 以上</p> <p>①及び②の材料：外装材①表面材と同じ</p> <p>①及び②の塗装又は被覆の有機質量：外装材①表面材と同じ</p> <p>①及び②の塗装の材質：外装材①表面材と同じ</p>

5. 仕様の構造説明図：

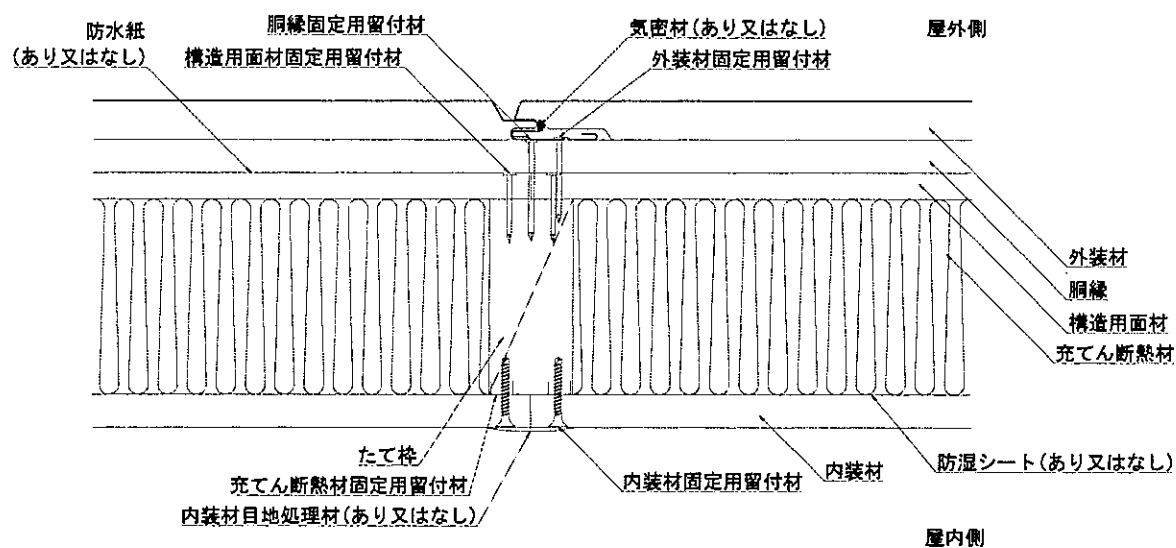
仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

図中の単位については、特記のない限りmmとする。

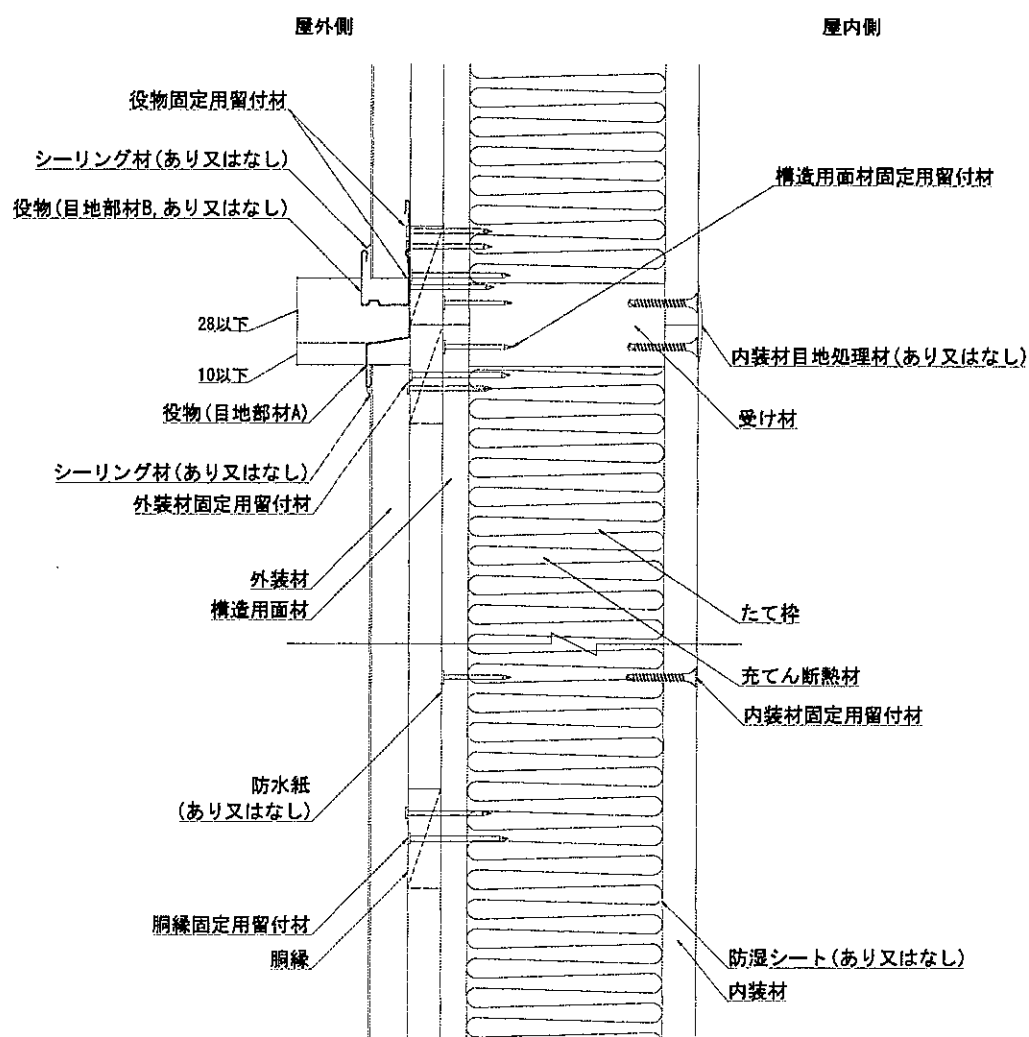


※は評価対象外

図1 構造説明図(内装材単張仕様)



水平断面詳細図



鉛直断面詳細図

図2 構造説明図 (内装材単張仕様)

単位mm

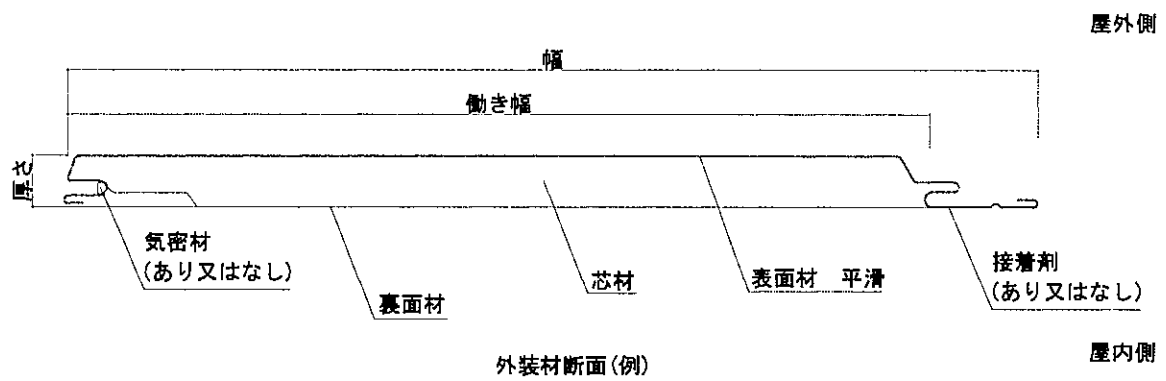
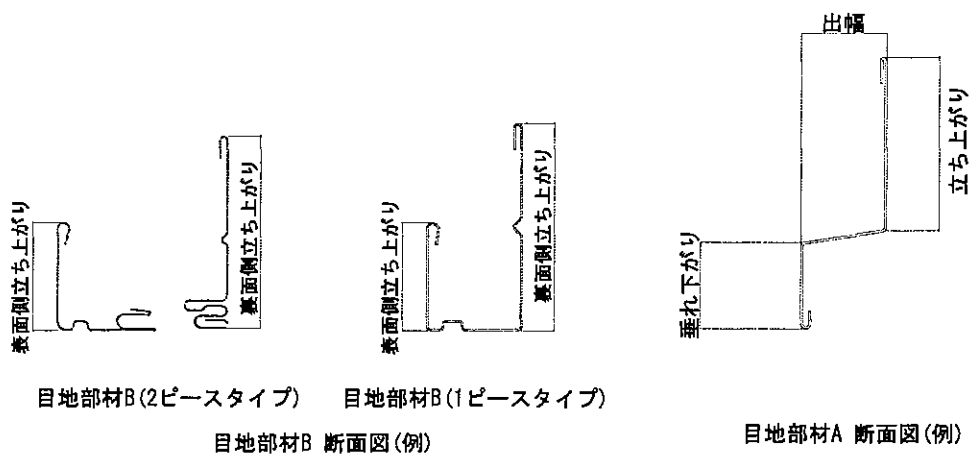


図3 構造説明図

4. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

1) 枠組

たて枠は、構造上支障のあるそり曲りのないものを使用し、455mm 以下の間隔で平滑に取付ける。

2) 受け材の取付け

内装材及び構造用面材の横目地部には、受け材を使用する。受け材はたて枠の側面に取付ける。

3) 構造用面材の取付け

構造用面材は構造用面材固定用留付材を用いて上枠、下枠及びたて枠に留付ける。

4) 水切(評価対象外)の取付け

あらかじめ土台部などに水切等を水平に配置し役物固定用留付材で留付ける。

5) 防水紙の取付け

防水紙を用いる場合は横張りを原則とし、重ね代を上下 90mm 以上、左右 150mm 以上とし、防水紙固定用留付材を用いてできるだけたるみ、しわのないように留付ける。

6) 胴縁の取付け

胴縁は水平方向に配置し、不陸のないよう平滑に胴縁固定用留付材を用いてたて枠等に留付ける。

7) 外装材の取付け

- ・ 1 枚目の外装材を水切上に水切と垂直にして、胴縁上に両端(左右のオス部、メス部)を外装材固定用留付材を用いて留付ける。なお、必要に応じてスターターを使用してもよい。
- ・ 2 枚目の外装材のメス部を 1 枚目の外装材のオス部に差し込み、その下部を 1 枚目にそろえてオス側を外装材固定用留付材を用いて留付ける。
- ・ 以下 3 枚目からは 2 枚目と同様に施工する。
- ・ 縦継ぎ部を設ける場合、役物(目地部材 A)と必要に応じて役物(目地部材 B)を外装材縦継ぎ部となる胴縁に役物固定用留付材を用いて留付ける。
- ・ 外装材と目地部材 A の隙間は 28mm 以下とする。
- ・ 必要に応じて役物同士の間や外装材と役物の間にシーリング材を施してもよい。
- ・ 気密材は嵌合部内に収まるものを使用する。
- ・ 必要に応じて、外装材の意匠面から補強留付けしてもよい。

8) 充てん断熱材の取付け

たて枠間に充てん断熱材を入れ、充てん断熱材固定用留付材を用いて固定する。

9) 防湿シートの取付け

必要に応じて防湿シートを防湿シート固定用留付材を用いてたて枠に、出来るだけたるみ、しわのないように留付ける。

10) 内装材の取付け

内装材は内装材固定用留付材を用いて上枠、下枠及びたて枠に留付ける。

必要に応じて、内装材目地部を内装材目地処理材を用いて処理する。

※注意事項

- ・ 本仕様を施工するにあたっては、本仕様と開口部、床、屋根および軒裏等の取合いの部分において、炎の侵入を有効に防止し、所定の防火性能が損なわれないようにする。
- ・ 本構造に使用される各留付材は、構造説明図に記載される所定の留付先に十分なかかり代が確保されるよう、留め付けている材料の寸法に応じた適切な長さで使用する。